

## キバナオニグモ

巻尺の端を引っ張って草叢を前進していたら、前方から飛び立った虫がすぐにクモの巣にひっかかりました。やいなや家主のクモが素早くその虫に取り付きまして、尻から吐き出す帯状の糸でぐるぐる巻きにしてみました。黄色があざやかな大振りなクモで、以前から気になっていました。映像には 2015 年 7 月 23 日 9 時 49 分と記録されました。



調べまして和名がキバナオニグモとわかりま

した。オニグモは人家の窓の外にも大きな巣を張る濃いこげ茶色の不気味な大グモで、子供の頃網をはる一部始終を観察した記憶がありますので、親しいのです。その仲間なので形がよく似ています。色彩は画像のとおりかなりサイケデリックです。一種の警戒色だと思います。大きさはオニグモよりも気持ち小さいと思います。網は典型的な円形で縦形です。分布は北海道と青森県の一部山地のようです。亜種がユーラシア大陸北部一帯に分布するらしいのですが、いずれも寒いほうが好きみたいです。



腹部背面の模様とか色の濃淡とかに個体差がありますが、脚のまだら模様が特徴的です。日本に棲むクモは 1,000 種類ほどもあるとのこと。生態も面白いのでこれからの出会いを楽しみましょう。

この日は「支笏湖復興の森」5218 林班約 1ha 単独事業地のメンテをやりました。2007 年 10 月 13 日。頭初の植栽本数はトドマツ 936 本でした。順調に生育しています。自然発生ではシラカバ、ケヤマハンノキと近くに親樹がある外来種のマツ類です。参加者の頑張りです。参加者の頑張りです。前日を含めて予定より進行が早かったので、2006 年 9 月 1430 本植えたセブンイレブン支笏湖復興の森の状況も視察してきました。1 年の差は歴然でセブンの方は樹高 3m 超えがずらりと並んでいて、達成感に浸ることができました。



単独事業地